

“宮城県”の企業様へ 時代の波を乗り越える!M&A活用セミナー

現役経営者の方はもちろん、ご家族の方など経営者を支えるすべての方が知っておくべき「M&A」について、事例を交えて分かりやすく紹介します。

2023年 **12月1日** 金
15時～18時(受付開始:14時30分～)

会場 TKPガーデンシティ仙台
宮城県仙台市青葉区中央1-3-1

同時
Webex
配信 同時配信 15時～18時

“宮城県”の経営者の皆さまへ

昨今の国内外の情勢変化に伴い、大きな経営環境の変化が生じている現在。その未来のため、いまから経営を変革したいオーナー経営者様も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。本セミナーでは、デジタル技術によってますます身近になった「M&A」の活用についても、事例を交えて分かりやすく紹介します。「会社の存続と発展」を叶える方法について、考えてみませんか。現役経営者の方はもちろん、ご家族の方もご参加いただけます。

第1部

日本の将来が危ない～少子高齢化と地方創生～

中小企業の後継者不在問題は叫ばれて久しいですが、まだまだ目を背けている経営者の方が多いのが現状です。特に東北は人口減少率が全国的にも高い地域となっており、少子高齢者に伴う働き手不足は深刻な問題です。今回は、「少子高齢化」と「地方創生」をテーマに、宮城県の中小企業が直面している課題とその解決策について解説いたします。

講師 杉村 太蔵 様

1979年8月13日、北海道旭川市出身。2004年3月筑波大学中退。派遣社員から外資系証券会社勤務を経て、2005年9月総選挙で最年少当選を果たす。厚生労働委員会、決算行政監視委員会に所属。労働問題を専門に、特にニート・フリーター問題など若年者雇用の環境改善に尽力。現在、テレビ・ラジオ・雑誌などメディアで活動する一方、派遣社員から国会議員、落選して無職からタレントに転身するなど、自身の経験を交えながら語る政治・経済をテーマとした講演活動を全国で行う。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程所定単位取得退学。北海道音威子府村と人口減少問題対策・過疎地問題について共同研究を行っている。KADOKAWAより、『投資“副業”お金の基本がゼロからわかる 稼ご方革命』を上梓。



第2部

地方創生の鍵を握るM&Aの実態

宮城県を取り巻く経営環境

経営者様によくあるお悩みの紹介

M&Aに対するよくある不安事項の紹介

M&A成功事例紹介

講師 株式会社日本M&Aセンター
取締役 常務執行役員 営業本部長 鈴木 康之

1975年千葉県生まれ、明治大学卒業。保険関連会社勤務を経て、2008年1月に日本M&Aセンター入社。2010年4月、日本M&Aセンターの札幌営業所開設にともない、札幌営業所長に就任。以後、東京本社事業法人部長、営業所長、執行役員・福岡支店長、中四国営業所長、執行役員金融法人部統括部長、2020年4月、上席執行役員・金融法人部統括部長兼大阪支社長に就任。2022年10月に営業本部長に就任。



第3部

誰でも事業承継・M&Aができる時代に

日本の中小企業を取り巻く後継者不在問題。インターネットを活用したM&Aプラットフォームが普及することで、これまでM&Aを経営手段の1つとして選ぶことができなかった小規模事業者にも活用できるようになりました。インターネットのスピード感、専門家サポートの安心感、この2つを組み合わせることで「誰でも、誰とでも、自由に」M&Aができる時代になったのです。本講演では、最新のM&Aの動向やM&Aプラットフォームだからこその事業承継についてお話しします。(会員数/成約数No.1のM&A総合支援プラットフォーム「BATONZ」)

講師 株式会社バトンズ 代表取締役CEO 神瀬 悠一

エンジニア、コンサルタントを経験後、リクルートにてリクルートマーケティングパートナーズ執行役員、リクルートライフスタイル取締役、リクルート住まいカンパニー取締役を歴任。2019年4月にバトンズへ取締役CMOとして参画、2022年3月に代表就任。



